

領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題:「グローバル化社会における格差と機会の平等についての領域横断的研究」
- ◆研究テーマ:「リテラシー格差の発生要因とその意思決定への影響、格差縮小方策に関する実証研究」

研究期間:R2.10~R5.3
委託費総額:14,167千円

<研究代表者>

小川一仁:関西大学社会学部/教授



<専門分野>行動経済学・実験経済学

<Webページ>

<https://www.kansai-u.ac.jp/riss/shareduse/archive/>

<研究目的・概要>

・リテラシー格差に起因する様々な問題(特殊詐欺、健康被害など)が世界的に発生

リテラシーを高める方策とは?

- ・行動経済学、社会心理学、社会情報学、公衆衛生学の知見を結集し、調査を設計
- ・IT・金融・健康リテラシーの現状把握
 - ・社会経済的要因、個人特性、選好などとの相関?
- ・低リテラシーを改善するための科学的介入調査を実施

- ・格差縮小方策を検討し、より安全な生活の実現を目指す。
- ・上記学問分野の調査方法論を革新する。

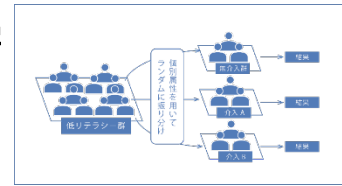
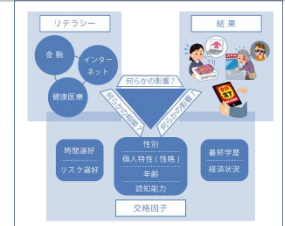
<研究計画の特徴>

IT・金融・健康リテラシーに関して以下をアンケートや実験で分析し、因果関係などを検討する。

(1)各リテラシーと人間の特性との相関

(2)リテラシーが低い人は詐欺被害などに遭遇しやすいか?

(3)リテラシー水準を高めるにはどのような政策介入が必要か?



<目標とする研究成果>

(1)低リテラシーの原因解明と向上政策発見

現状把握および向上策の発見を通じて、各種リテラシーの向上につなげる。低リテラシーに起因する様々な問題を回避するための第一歩とする。

(2)人間行動分析の一層の進展

人間行動を分析する諸分野の連携によって、分野間相互理解が進化した学際研究を推進する。

<将来展望>

- ・回答者を追跡調査し、リテラシー向上によって行動や考え方が変容したかを分析する。
- ・本事業でのノウハウを海外に展開する。